

「熊本県の二輪車振興施策の取組みについて」の策定について

平成27年3月
熊本県産業支援課

1 趣旨

平成25年9月に、二輪車（バイク）産業に関わる関係者が一堂に会し、二輪車産業の現状及び課題に関する認識を共有し、二輪車産業の再興を目指すための議論の場である「BIKE LOVE FORUM」（以下「BLF」という。）が発足するにあたり、熊本県は、国内有数の二輪生産拠点である本田技研工業株式会社の熊本製作所が立地すること等から、「二輪車に関わる地方自治体」として、同趣旨に賛同し参画した。

また、二輪車産業の成長戦略として、平成26年5月に公表された「二輪車産業政策ロードマップ」（以下「ロードマップ」という。）は、BLFメンバーに参加する二輪車関連団体及び地方自治体を取りまとめたものであり、本県はその一員として今後ロードマップに係る施策を進めていくこととなる。このため、二輪車に関する概況、国等の動きを踏まえ、今後本県がBLF及びロードマップに基づき二輪車振興施策に取り組むにあたっての考え方等をまとめ、本書を策定する。

2 計画期間

2014（平成26）年度～2020（平成32）年度

3 熊本県の取組方針

（1）本県が目指すもの

- ① 二輪車関連産業の振興
- ② 安全・安心な二輪車と社会との共生の深化
- ③ 移動・輸送手段の多様性の確保

（2）スローガン

熊本県を「ライダーが一番住みたい・乗りたい・行きたい県」にする。

（3）実施主体

熊本県のほか、官民の二輪関係者がそれぞれの役割に応じて施策を実施する。
なお、関係者による連絡会議を開催する。

（4）取組項目

- ① BLF に関する取組み
- ② 二輪車産業政策ロードマップのうち、「国内市場」に関する取組み

【国内市場項目】

- | | |
|---------------------|-------------|
| 「⑤安全・安心な二輪車利用環境の醸成」 | 「⑥社会との共生実現」 |
| 「⑦社会基盤の整備」 | 「⑧免許制度の見直し」 |
| 「⑨快適・楽しさの訴求」 | |

- ③ 推進体制

【個々の取組みを通じて県が目指すもの】

⑤ 安全・安心な二輪車利用環境の醸成

- 県が目指す「安全・安心な二輪車と社会との共生の深化」の実現のためにも、警察と二輪関係団体による全国的な動きのほか、県内市町村及び県内で民間企業等が既に行っている高校生、高齢ユーザーへの交通安全教育の動きと連携を図りながら、啓発・教育活動を推進し、年間二輪事故死者数ゼロ（平成25年15人）を目指す。

⑥ 社会との共生実現

- 県内自治体に対し、ロードマップの実施施策を紹介し、二輪車利活用が地域活性化に繋がる施策に取り組む自治体の出現を目指す。及び既に実施している二輪車利活用について広く県内外に紹介する。
- 自治体におけるバイクによる防災活動、支援活動等の紹介を行う。

⑦ 社会基盤の整備

- 熊本市では自転車の有料駐車場の一部で125ccまで受け入れていることから、このような駐車場に関する情報発信を行うとともに、今後、二輪車の増加に伴い、駐車スペースの新たな確保が必要となった場合は、関係自治体及び駐車場運営団体等に対し、駐車場整備働きかけ等を行う。

⑨ 快適・楽しさの訴求

- 3ない運動が転換期を迎えた中、若者等のバイクに関する意識調査等を行い、若者等に対し二輪車に関する情報が一層流れるよう、高校、高専、大学との連携を進める。
- 本県でのバイク生産事情等を説明し、県産バイクへの愛着を高めると同時に「ものづくり」への関心・興味を抱く若者の出現を促す。
- 大空港構想の一環として県が取り組む「くまもとライダーズベースプロジェクト」と連携を図りながら、県北地域（阿蘇・菊池等）を中心としたツーリングコースの紹介や、ライダーへの協力店の確保、阿蘇ツーリングを目的としたバイク輸送付ツーリングパックの定着を目指す。